

シュノイキスモス：ポリスへの道

後期ジオメトリック期の人口爆発説（見かけ上、年率4%の人口増）

未成年者比率：5～10%（925 - 725）→53%（725 - 700）（アテナイ）

8%（925 - 725）→59%（725 - 700）（アッティカ）

12%（925 - 725）→43%（725 - 700）（アルゴス）

成人と未成年者の埋葬比率

前720年以前＝暗黒時代

成人と未成年者の埋葬者数の大きな格差

年齢による被葬者集団から排除

身分差別の強さを示す

前720-670年

成人と未成年者の埋葬数の格差解消

年齢による被葬者集団からの排除の消滅

身分差別の解消

前1000年ころの中心核地での人口増加

前900年ころの内地植民による地方への人口拡散

前750年ころの身分格差の解消

アッティカ・アルゴスの人口動態

アテナイ市内よりアッティカの人口の増加数が大きい

アッティカからアテナイへの人口移動

アテナイからアッティカへの人口移動

農業経済はいつ変化したのか

スノドグラス説

暗黒時代初期

人口減に伴う牧畜の拡大

暗黒時代中期

牧畜を主体とする

肉食の習慣

暗黒時代末期

人口増に伴う土地利用の効率化

農耕への回帰

スノドグラス説批判

牧畜から穀作へ←線文字B文書における10万頭もの家畜

土地不足は感じられず

8世紀及びそれ以降の神域への奉納物：家畜像

葬儀における肉食の風習←暗黒時代の名残：動物の骨を伴う（Snodgrass, 2000, 378-79）

←850-700年ころの墓の副葬品に土器製の穀物倉庫の模型多数 (Snodgrass, 2000, 380)

多品種少量生産の農業戦略

ランネルズの南アルゴリスでの経験

北部ギリシア出土の穀物倉庫

持続的な農業戦略

後期ジオメトリック期の特徴的パターン

交易の復活

農村部における小規模新集落の増加

既存集落の反動

英雄崇拜（墓所崇拜）の出現

中心市アテナイに対する旧集落の独自性主張

豪族（アガトイ）層による主導

聖所の建設

国家守護神崇拜

神殿への奉納物の質的向上と量的増大

アテナイの特殊化

- a) アクロポリスの神殿は貧弱
- b) 墓の厚葬化
- c) 豪族層の選良化
- d) 非豪族（カコイ）層の排除